

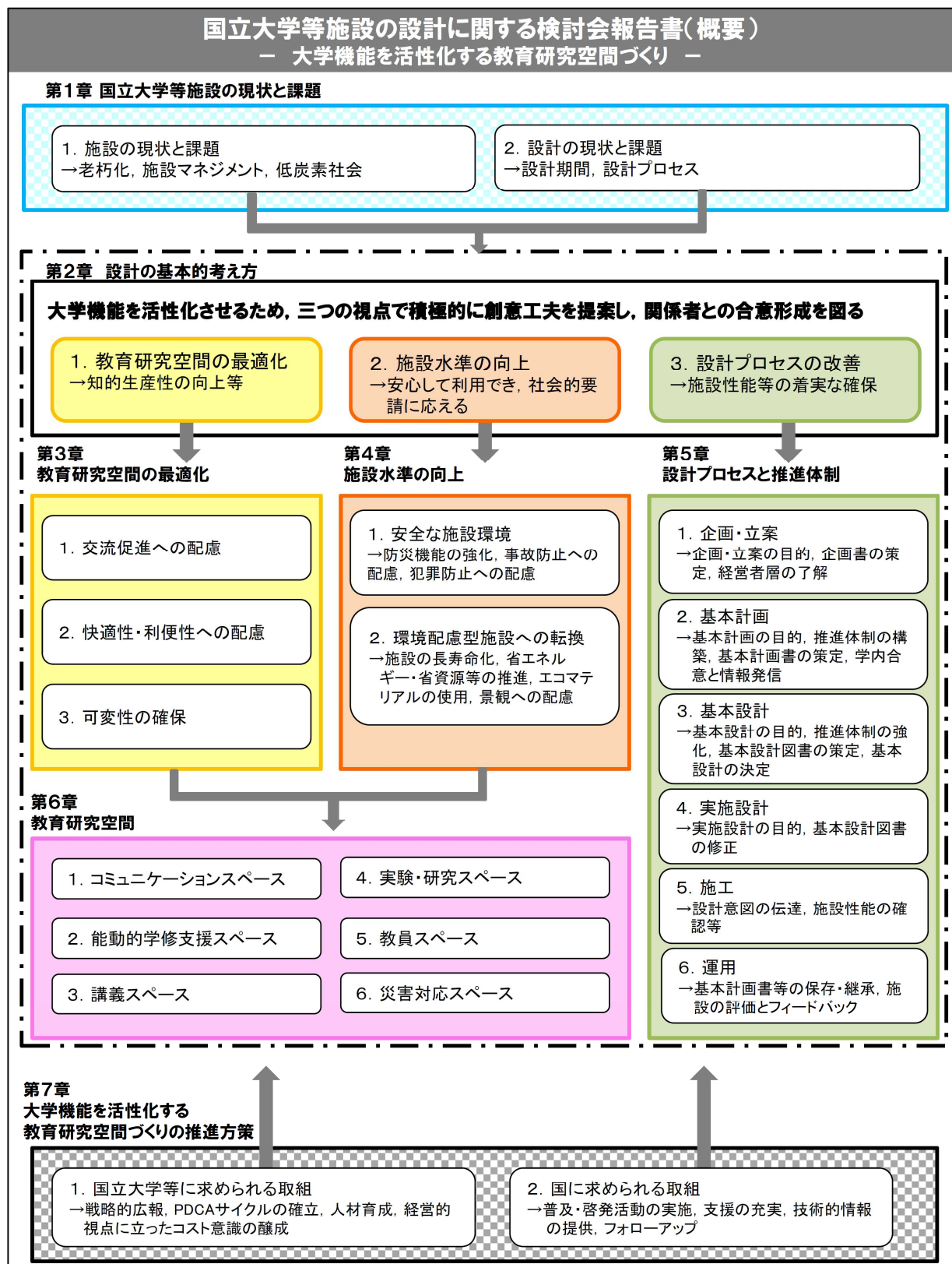
参 考 資 料

国立大学等施設の設計に関する検討会報告書

参 考 資 料

国立大学等施設の設計に関する検討会報告書（概要）	31
第1章 国立大学等施設の現状と課題	32
大学キャンパスの創造的再生と施設設計（抜粋）（上野委員提出資料）	32
施設整備の流れと大学施設部課の役割（抜粋）（小山委員提出資料）	36
第2章 設計の基本的考え方	37
国立大学改革プラン（平成25年11月 文部科学省）	37
第3章 教育研究空間の最適化	44
大学施設の計画・評価の事例（抜粋）（堀川委員提出資料）	44
教育研究上の効果を見据えた施設整備の推進	53
第4章 施設水準の向上	54
津波に対する官庁施設の機能確保の考え方（平成25年2月 国土交通省）	54
地震・津波対応戦略の策定に必要な課題（抜粋）（田村委員提出資料）	55
持続保全性の高い建築を求めて（抜粋）（古橋委員提出資料）	60
実験施設の整備等における安全衛生対策について（抜粋）（山本委員提出資料）	69
第5章 設計プロセスと推進体制	75
各設計段階における構造設計技術者の関わり方（抜粋）（竹内委員提出資料）	75
第7章 大学機能を活性化する教育研究空間づくりの推進方策	82
国立大学等の施設整備に関する指針等	82
国立大学等の施設整備の全体像	82
検討会の概要	83
国立大学等施設の設計に関する検討について	83
国立大学等施設の設計に関する検討及びワーキンググループの検討過程	86

国立大学等施設の設計に関する検討会報告書（概要）



第1章 国立大学等施設の現状と課題

大学キャンパスの創造的再生と施設設計（抜粋）（上野委員提出資料）

（上野委員提出資料）

大学キャンパスの創造的再生と施設設計



千葉大学・上野 武

4 July 2013

国立大学等施設の設計に関する検討会 第1回

Takeshi UENO, Campus Planning Office, Chiba University

1

キャンパスの創造的再生のための4つのデザイン

戦略
Strategy

- 大学の使命を踏まえた既存キャンパスの再評価

協働
Collaboration

- 学内外関係者との協働の仕組み

工程
Process

- 組織的・段階的に実現するためのプロセス

空間
Space

- キャンパスを特徴付ける空間デザイン

4 July 2013

国立大学等施設の設計に関する検討会 第1回

Takeshi UENO, Campus Planning Office, Chiba University

5

キャンパスづくりの目標

1. 教育研究の活性化

- 質の高い教育研究環境の確保(国際水準)
- パブリックスペースの充実

2. 地域・社会との共生

- 連携拠点の形成
- 景観の形成

3. サステイナブルキャンパスへの転換

4. 安全・安心なキャンパスの確保

なぜ、魅力ある施設設計がなされないか？

- 安全を確保するための耐震改修が最重要課題であった（耐震＝公共性）
- 私的空間（研究室、実験室等）への要望に応えることが第一であった
- 公的空間（共有スペース等）への、十分な配慮がなされてこなかった



公的空間はキャンパスの基盤（インフラ） キャンパスを都市（まち）のように計画

- 美しいキャンパス景観
- 交流・出会いの機会誘発
- 隠れたカリキュラム醸成の場
- 寄附への動機づけ
- 地域資産
- サステイナブル社会の理想的教材

大学施設整備の基本視点(案)

持続可能な大学施設の設計

1. キャンパスマスタープランとの整合
2. 公的空間(パブリックスペース)の充実
3. 可変性(フレキシビリティ)の確保
4. 環境配慮型建築への転換
5. 安全・安心への配慮

社会教材としての大学施設

4 July 2013

国立大学等施設の設計に関する検討会 第1回

Takeshi UENO, Campus Planning Office, Chiba University

9

海外参考事例



4 July 2013

国立大学等施設の設計に関する検討会 第1回

Takeshi UENO, Campus Planning Office, Chiba University

11



古い建物の中庭に大屋根を架けワークスペースを生み出す



古い建物に並行して吹抜を介した新棟を増築

右側が既存棟



建物1階部分を公的空間（学生の居場所）として開放



施設整備の流れと大学施設部課の役割（抜粋）（小山委員提出資料）

